

第20回俳句コンテスト入選作品

賞	作品	区分	氏名	市町村名
天位	けあらしや鮫様棲むといふ大河	兼題	中村 幸広	石狩市
地位	けあらしの朝を旅路の一步とす	兼題	大森 三枝子	北斗市
地位	生きて爪伸びる早さや半夏生	自由題	伊藤 ていこ	広尾町
地位	石狩の川霧重し開拓碑	自由題	櫻庭 英夫	余市町
地位	北の地のけあらし祖父は無口なり	兼題	瀧本 幸	札幌市
地位	最果てのけあらし間宮林蔵碑	兼題	猪俣 総恵	札幌市
人位	けあらしの野付の砂嘴を飲み込める	兼題	西出 泥舟	三重県
人位	大試験母の大盛りカツカレー	自由題	井上 厚明	岩見沢市
人位	朝つばめひかり啜えて来たりけり	自由題	舘 健一郎	茨城県
人位	けあらしの海にもこだまあるといふ	兼題	請関 くにとし	埼玉県
人位	一湾のけあらし突きて大漁旗	兼題	田中 政行	札幌市
人位	気嵐や棚田に地震の爪の痕	兼題	赤繁 忠弘	石狩市
人位	けあらしの海に船霊見えし朝	兼題	野口 成人	滋賀県
人位	けあらしや蔵に微かな醪の音	兼題	渡辺 愛美子	石狩市
人位	けあらしのサルルンカムイ嘴の音	兼題	若原 正己	札幌市
人位	気嵐や砂嘴の岬に棲み古りぬ	兼題	小神 仁行	札幌市
人位	白寿には少し間のあり天の川	自由題	木原 楨枝	小樽市
人位	けあらしの海へきざはし朝日影	兼題	近藤 由香子	札幌市
人位	「したっけね」気嵐の朝母は逝き	兼題	遠藤 幸子	群馬県
人位	トーチカは黙して語る浜防風	自由題	菊池 健人	帯広市
人位	けあらしや天上の海風いでおり	兼題	鈴木 夕希	札幌市
佳作	通学の子やけあらしの中すすむ	兼題	竹澤 聡	神奈川県
佳作	気嵐の黙して櫓櫓揃いけり	兼題	千葉 藤雄	札幌市
佳作	けあらしの釧路湿原親子鶴	兼題	中島 土方	新得町
佳作	軒先に浜風うけて干し大根	自由題	下澤 安子	石狩市
佳作	金色のけあらし纏ひ出港す	兼題	畑中 貴子	石狩市
佳作	いしかりの朝けあらしに汽笛かな	兼題	舘 健一郎	茨城県
佳作	けあらしや明かりの灯る漁師町	兼題	須田 としお	帯広市
佳作	けあらしの明けの港に大漁船	兼題	田森 つとむ	札幌市
佳作	狼を祀るほこらや初時雨	自由題	請関 くにとし	埼玉県
佳作	けあらしやわが初任の地啄木碑	兼題	下岡 憲充	石狩市
佳作	けあらしやかもめ寄り添ふ舳ひ綱	兼題	田中 政行	札幌市
佳作	ゆるやかにけあらし立ちて舳い船	兼題	鈴木 義久	東京都
佳作	天羽丸けあらし切って突き進む	兼題	加藤 美代子	石狩市
佳作	けあらしの緞帳あげる朝日かな	兼題	鈴木 久士	石狩市
佳作	けあらしの一夜に海を奪いけり	兼題	小玉 富士子	石狩市
佳作	けあらしの消えて漢は舳い解く	兼題	小神 仁行	札幌市
佳作	朝焼けに染まるけあらし立つ水面	兼題	江口 和江	岩内町
佳作	けあらしの中や始発を待つ渡船	兼題	戎屋 健一	石狩市
佳作	けあらしを突っ切り一羽天空へ	兼題	吉川 節子	奈井江町
佳作	けあらしや昭和百寿となりし朝	兼題	坂本 一溪	札幌市